

山行報告書

作成:2009年8月12日

愛知岳連 岡崎山岳会

山名[山域]	白馬岳(2932m)・鑓温泉 [後立山]	目的[方法]	北ア展望と自然観察
期間	2009年8月8日(土)～10日(月)	形態	テント泊(2泊3日)
参加人数	2人		

行動記録:

8月8日(土)曇り時々晴れ,無風,22 @ 梅池自然園

H宅(455)=0:15= 岡崎IC(510)=0:40= 土岐JCT(550)=0:23= 恵那峡SA(613,655)=1:15= 岡谷JCT(810)=0:20= 梓川SA(830,842)=0:06= 豊科IC(848)=1:17[50km]= 梅池高原(1005,1050)+0:20[ゴンドラ]+ 梅ノ森(1110)-0:10- 梅大門駅(1120)+0:06[ロープウェイ]+ 梅池自然園(1126,1147)-0:57- 銀嶺水(1244,1253)-0:30- 天狗原(1323,1342)-0:08- 風吹大池分岐(1350)-1:50- 乗鞍岳(1540)-0:40- 白馬大池山荘(1620)TS1 就寝(18:30)

8月9日(日)曇り時々小雨,中風,12 @ 白馬岳

起床(2:30) TS1(425)-1:55- 小蓮華山(650,712)-0:52- 三国境(804,815)-1:00- 白馬岳(915,932)-0:30- 白馬山荘(945,1025)-2:52- 鑓ヶ岳(1317,1340)-0:50- 大出原(1430,1440)-1:30- 鑓温泉(1610)TS2 就寝(19:30)

8月10日(月)雨,微風,18 @ 鑓温泉

起床(5:00) TS2(750)-0:35- 第2雪渓(825)-0:29- 第3雪渓(854)-1:23- 小日向のCOL(1017)-0:38- 中山沢(1055)-0:41- 水芭蕉?(1136)-0:39- 鑓温泉登山口(1215)-0:15- 猿倉荘(1230,1250)=0:25[TAXI]= 梅池高原(1315,1332)=0:03= 元湯梅の森・そば処ふるさと(1335,1505)=1:18= 豊科IC(1623)=0:04= 梓川SA(1627,1642)=0:53= 松川IC(1735)=0:43= 恵那IC(1818)=0:17= 土岐JCT(1835)=0:35= 岡崎IC(1910)=0:17= H宅(1927)

概念図:



アプローチメモ:

ETC料金[割引]

- ・岡崎～豊科: ¥1,000[休割]
- ・豊科～松川: ¥1,200[通割]
- ・松川～恵那: ¥1,050[通割]
- ・恵那～岡崎: ¥1,300[通割]

乗り物

- ・ゴンドラ・ロープウェイ: ¥2,020[人荷]
- ・タクシー(猿倉～梅池高原): ¥4,800

駐車場

- ・梅池高原: ¥300×3日

日誌:

A/G/C/Tを参考に計画したが、荷重、お花見により大幅に時間超過した。
 ・梅池自然園ビジターセンター横(手前)に登山口がある。
 ・白馬大池は“湖畔の宿”、テント場も快適。
 ・スッキリしたご来光は拝めなかったが、雪倉岳に懸かる“朝の虹”を見る。
 ・展望が楽しめたのは小蓮華山から三国境まで、八ヶ岳、富士山、南アまで遠望できた。これ以降は雲の中に鎖された。
 ・稜線鞍部から大出原までお花畑が続く。大出原から見上げる花の斜面は圧巻!
 ・鑓温泉までクサリ場(急下降、トラバース)が続く、濡れた岩が滑りやすく要注意。
 ・憧れの“鑓温泉”に浸かり大満足!

- ・9日夜からの雨は止まず“露天風呂で拝むご来光”は叶わず、残念! 小降りを待ってテント撤収し遅い出発となる。
- ・3ヶ所の雪渓と地盤が緩んだトラバース道を慎重に通過し、小日向のCOLに出て緊張が解ける。
- ・降り続く雨で猿倉までの登山道は“川”状態、石を拾って歩くも限界、無駄な抵抗を諦めジクジクと音を立てて降る。

感想:

流石“花の白馬岳”、コマクサはじめたくさんのお花が楽しめます。晴れた日に再度訪れたいコースです。